



▲快くお話をしてくださった村野仁義さん

福生農業の「お父さん」



むらの によし
志茂一町会 村野 仁義さん

「元気の秘訣？特にはないです。畑で鍛えているくらい。」
村野仁義さんは大正10年生まれ。88歳になられた今でも花いっぱい運動では葉ボタンを納品、出せるときには直売所へも出荷しています。「出すものがなくても、どんなものが出ているかなあと直売所には見に行くよ。」と笑って話してくれました。

「昔、福生に田んぼがあった頃は、かかしを手づくりしたよ。羽村の川崎から水を引いてきて大変だった。」金子から昭島まであった山が削られ横田基地になったときは、毎夜のようにあった夕立が無くなったんだ。」かつて仁義さんは基地で働いていて、米軍とのエピソードも数多く思い出に残っているそうです。まさに福生の歴史の証人。

「季節が巡るごとに、この時期にはこれをやるとか、連作にならないように考え、予定をこなしていくんです。」こんなところにもお元気の秘訣が隠されているのかもしれない。

自然と共に歩む農業が理想

「農業を一切使わないで農業が成り立つかは疑問。ただ、農業は自然と共に歩まない。土も水も本来自然に返すべきものは返す、そんな風に思います。」穏やかな口調でにこにこ話してくださいました。仁義さんは福生農業の「お父さん」的存在。農業委員会では都農業会議が実施する表彰事業により農業功労者として推薦することといたしました。今後ますますお元気で活躍していただきたいと思います。

9月25日農地パトロールを実施しました。今後も農業委員会では定期的にパトロールを実施していきます。お困りの際は地区の農業委員に相談するなどして、農地の適正管理に努めていただきますようお願いいたします。



農地パトロール実施しています

がんばっています！学校給食！

以前は難しいと思われていた福生産野菜の給食導入。しかしこの12月には週5回のうち4回も地場産野菜が登場するなど農業者と給食センター担当者との努力が着実に実を結んでいます。福生市教育委員会のホームページでも紹介されています。

▼11月26日に登場したダイスサラダ

(地場産の大根・人参を使用)



▼ 納品の様子



お気軽にお問い合わせください！

福生市農業委員会事務局

福生市生活環境部

地域振興課 地域振興係内

TEL 042-551-1699

FAX 042-552-2622

E-mail

f-sinkou@city.fussa.tokyo.jp



直売所の営業について

年末は30日まで営業

年始は4日から営業です。

